

2023年(令和5年)度の管理運営状況等について



－ 目次 －

1, 第Ⅲ期 2023年度	P 7
2, 賑わい創出について	P 8
(1)イベント	
(2)ロケーション撮影	
(3)独立型店舗	
(4)広告事業	
(5)オープンカフェ	
(6)その他 活性化施策	
3, 現場管理(警備・清掃・イベント管理)	P 13
4, 収支(2023年度実績見込)	P 18
5, これからの取り組み	P 20
 参考資料	
来場者数データ	P 21
2023年度 イベント・ロケーション撮影紹介	P 22
2023年度 伝統行事、地域・行政主催イベントの一部	P 25

1, 第Ⅲ期 2023 年度について

2023 年、全国各地で「暑さ」の記録が塗り替えられるほど厳しい猛暑でした。

プロ野球では 59 年ぶり※1 となる関西球団同士の対決「関西ダービー」での日本シリーズ開催、御堂筋では両チームによる優勝パレードや 2023 年「新語・流行語大賞」の年間大賞に『アレ (A.R.E.)』が選ばれるほどプロ野球も熱くなりました。

とんぼりリバーウォークでは、湊町エリア左岸(南岸)での「なにわ筋線」工事が本格化し、現地での独立型店舗の開催やイベント等実施ができず、また船着場の移設も行われました。

ミナミエリアでは、南海なんば駅周辺での工事のうち、「なんば広場(仮称)」部分が 2023 年 11 月 23 日に完成、先行してオープンとなりました。現在は、「広場の管理運営」を行う社会実験を行っています。

大阪観光局によると、2023 年の外国人観光客 979.8 万人(2019 年度比 85%)が大阪を訪れ、消費総額は過去最高となる 9210 億円(2019 年度比 111%)だったようです。

今後、2025 年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の開催に向けて、とんぼりリバーウォークでは地域や行政とも連携した機運醸成活動、国内外からの来場者が引き続き訪れたいと思われるように環境美化に注力しながら安全・安心な管理運営に努めたいと思います。

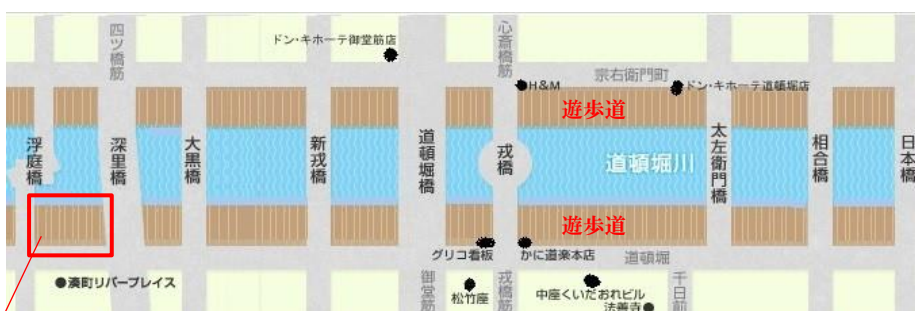
※1 関西球団どうしの日本シリーズは、最初の東京オリンピックが開かれた 1964 年、本拠地が甲子園の阪神タイガースと大阪球場を本拠地としていた南海ホークスの対戦。南海が 4 勝 3 敗で日本一となる。



2023/9/14 阪神タイガース リーグ優勝時の様子
(画像提供 京阪神エルマガジン社)



2023/11/23 なんば広場
オープニングセレモニー
(シティリビングより転載)



とんぼりリバーウォークマップ (日本橋～浮庭橋)

遊歩道での「なにわ筋線」工事ヤード

2, 販わい創出について

本年5月8日に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類感染症に位置付けられたことで、制限要請が撤廃され、イベント開催、ロケーション撮影などが以前のように実施できるようになりました。ただ、湊町エリアでは、「なにわ筋線」の工事ヤード使用の影響で、左岸(南岸)エリア全体が封鎖となり、独立型店舗の誘致・開催ができない状況となりましたが、徐々に以前の件数に推移するなど、本年度の各項目の見込件数は、以下のとおりです。

【 イベント等開催状況一覧 】

	第Ⅰ期			第Ⅱ期				第Ⅲ期				2023年度 見込
	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
イベント実施件数	60	62	90	110	209	214	229	272	79	85	164	203件
ロケーション撮影件数	8	10	27	11	31	28	48	29	15	19	16	23件
独立型店舗出店件数	—	—	—	1	1	2	1	1	0	0	0	0件
広告利用件数(月単位の積算)	1	2	0	1	3	0	0	23	30	24	24	24件
オープンカフェ契約店(最多月)	8	13	17	22	31	38	44	45	33	25	32	44店

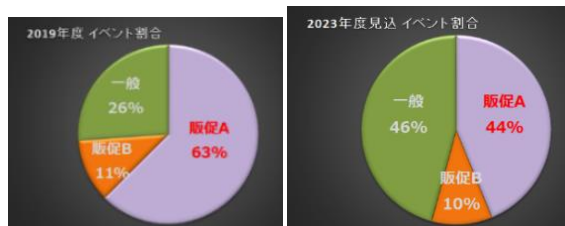
(1) イベント

地元商店街など14団体で構成される「いっとこミナミ実行委員会(会長:道頓堀商店会 上山会長)」主催として、夏の風物詩となっている「道頓堀川万灯祭」に加え、本年度は南海電鉄が冬の地域活性化施策としても取り組んでいるイルミネーションに共催いただき、夏・冬で遊歩道を彩りました。

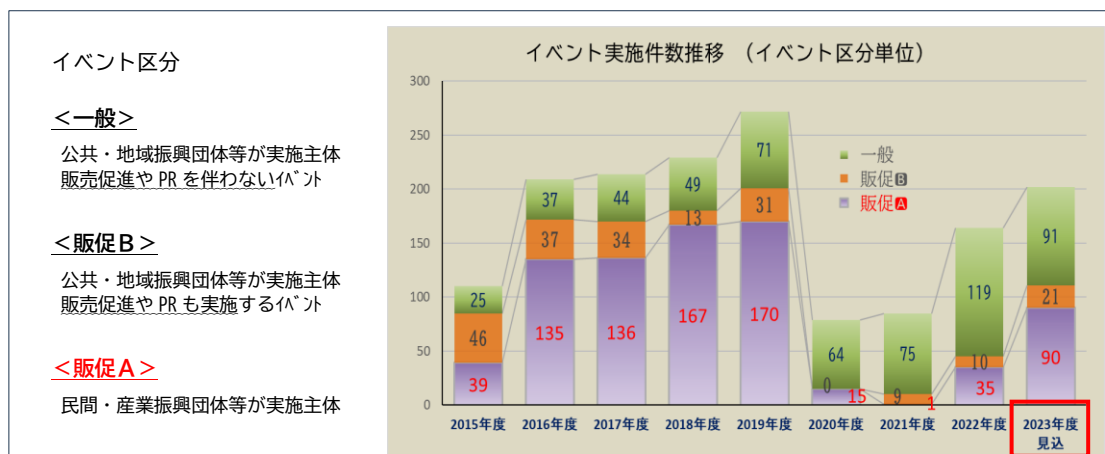
イベント全体に関しては、開催が200件を上回る見込みですが、「販売促進A(販促A)」の開催件数が伸び悩んでいます。要因の1つとして、プロモーションの多様化が考えられます。近年SNSやインターネットなどのデジタルプロモーションが台頭しています。対面のリアルイベントとミックスされたイベントが少しずつ開催されていましたが、コロナ禍後からは、リアル開催での天候等リスク、警備費等を含めた開催費用対効果などがネックとなっているように考察しています。



いっとこミナミ実行委員会のイルミネーション
(太左衛門橋～道頓堀橋)



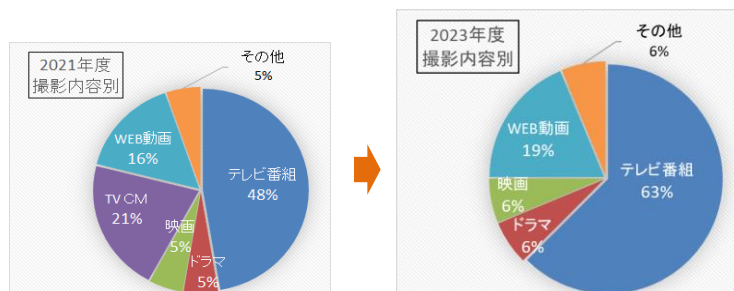
＜図1 イベント割合(イベント区分単位)＞



＜図2 年度別 イベント実施件数推移(イベント区分単位)＞

(2) ロケーション撮影

本年度のトピックとしては、テレビ番組の生中継やテレビ CM の撮影がありませんでした。が、個人での SNS 動画を撮影されている特に若者が多くいます。その点からもエリアとしての魅力は、継続してあると感じています。



【2023年度に実施されたロケーション撮影の一例】

- テレビ番組
 - NHK 「みんなのうた」
 - 朝日放送 「やすとものいたって真剣です」
 - テレビ朝日 「かまいたち」
 - 関西テレビ放送 「アンタッチャブル TV」
 - 毎日放送 「関西ジャニ博」
 - BS テレビ東京 「飯尾和樹のずん喫茶」
 - JCOM 「地域発 未来へつむぐ安心安全 “道頓堀”の闘い -世界一愛されるまちへ-
- ドラマ撮影
 - 日本テレビ 「だが、情熱はある」
- 映画撮影
 - 「SAVAGE 獲るのは誰だ？」
- WEB 動画撮影
 - ピザハット web CM
 - Peach 社内向け動画
 - THE CHEF IN A TRUCK 2
- その他撮影
 - 映画「ゆとりですがなにか インターナショナル」の販促動画 など

(3) 独立型店舗

湊町エリア(左岸)では、2023 年 5 月から、エリア全体が「なにわ筋線」工事の関係で、立入禁止となっています。来年度については、湊町船着き場が代替されている大黒橋エリアで、中期的な新たな活用事例とすべく、企画を詰めて実現を目指したいと取り組んでいます。



湊町エリアの工事
(深里橋～浮庭橋 左岸)



湊町から移転した船着場
(大黒橋～深里橋 右岸)

(4) 広告事業

継続して、次の2点が収益をともなう広告事業となりました。

- ① 2019年度から新たに導入した新ロングボード広告枠。
- ② 14ヶ所設置されている Information ボードの一部分を広告枠として継続活用。

残念ながらウォールアートでの企業PRアート広告は実績に結びついていませんが、引き続き新たな利活用スタイルを立案しつつ、収益確保による安定的な事業と話題喚起での賑わい創出に繋がりたいと思います。



新ロングボード広告枠（戎橋～道頓堀橋 左岸）



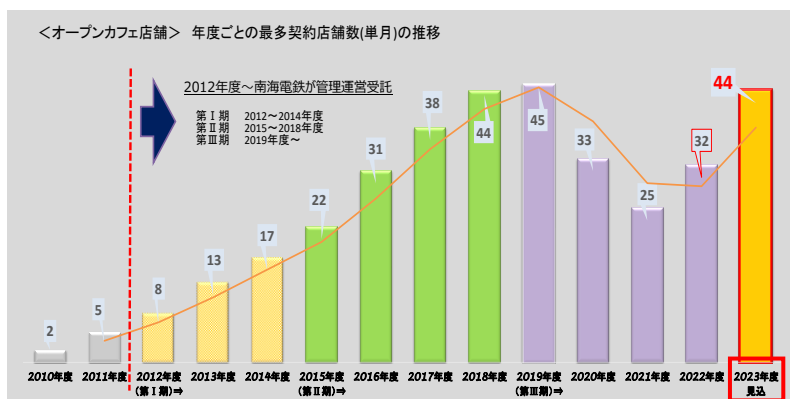
Information ボードを活用した広告枠

(5) オープンカフェ

コロナ禍を経て、オープンカフェ利用をされなかった店舗、閉店後に新規開店する店舗などの契約により、本年度後半で契約店舗数が最高に近づきつつあります。（表①参照）

しかし、契約店舗が増えることで、イベントスペースの確保が難しい点、遊歩道側だけに出入口がある店舗への入店待ちの整列方法や不適正な利用をする店舗など課題も出てきています。

国内外からの旅行者等が、今後も安心して訪れていただける遊歩道として、大阪市の力もお借りしながら課題解消に向けて取り組みたいと思います。



オープンカフェの状況（太左衛門橋～戎橋(右岸)

＜図3 オープンカフェ 1ヶ月における最多契約店舗数の推移＞



＜図4 オープンカフェ契約期間別件数推移＞

＜表①＞

オープンカフェ 月別営業(契約)店舗件数												【凡例: 最多 最小】		2023年度 見込
月別	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
4月	4	9	14	17	24	30	36	42	30	9	28	30		30
5月	4	10	14	18	27	32	37	42	30	9	29	34		34
6月	4	10	14	19	27	36	37	42	31	10	30	37		37
7月	4	13	14	20	29	36	37	44	32	16	30	40		40
8月	4	13	15	21	31	38	38	45	31	16	31	40		40
9月	6	13	16	21	31	38	40	45	33	16	32	41		41
10月	6	13	16	22	30	36	43	45	32	22	32	42		42
11月	7	11	15	19	29	34	44	45	32	22	32	42		42
12月	8	11	17	21	28	31	42	44	30	24	30	43		43
1月	7	11	15	20	26	32	41	40	29	24	31	44		44
2月	7	11	15	19	26	32	42	41	29	25	31	44		44
3月	7	11	15	19	24	33	41	41	29	25	31	44		44
年度累計	68	136	180	236	332	408	478	516	368	218	367	481		481
前年差		68	44	56	96	76	70	38	-148	-150	149	114		114

※南海電鉄では、長期的な利用促進を図るべく割引制度の導入。（図4参照）

- ・2013年度から「長期利用割引制度」(10～30%割引)
- ・2015年には「Wi-Fi 設置割引制度」(5%割引・長期利用割引併用あり)

【オープンカフェ契約先店舗一覧 2024年1月現在】

凡例

2023年度 新規 14店舗 開店1	2021～2022年度 新規 8店舗 開店(未建)2	2020年度 新規 2店舗 開店11	2019年度 新規 4店舗 開店1	2018年度 新規 10店舗 開店2	2017年度 新規 10店舗 開店2	2016年度 新規 12店舗 開店3	2015年度 新規 7店舗 開店2	2014年度以前 17店舗
-----------------------	-------------------------------	-----------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	------------------

■道頓堀橋～太左衛門橋間

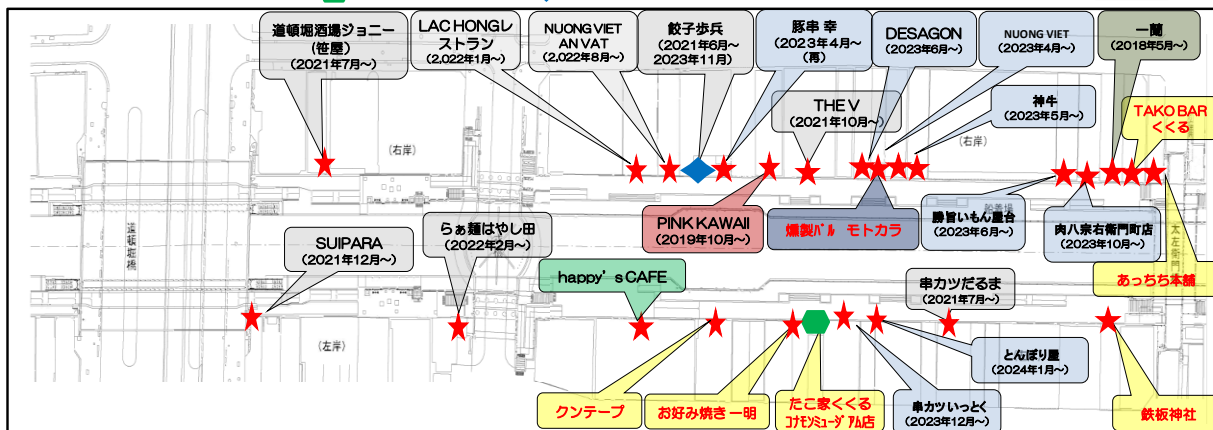
長期休業/利用なし

退店済

契約店 年度内退店

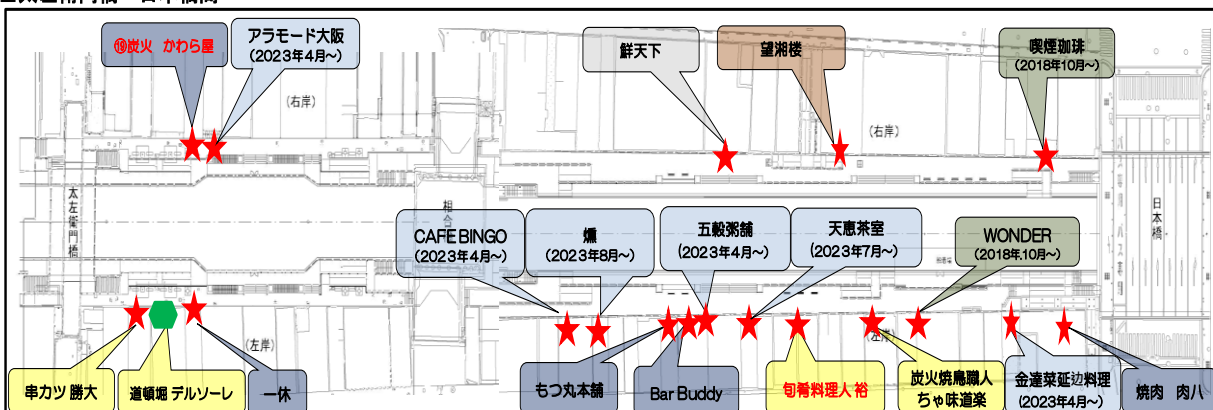
★ 契約店舗(営業/休止)

wi-fi 契約店



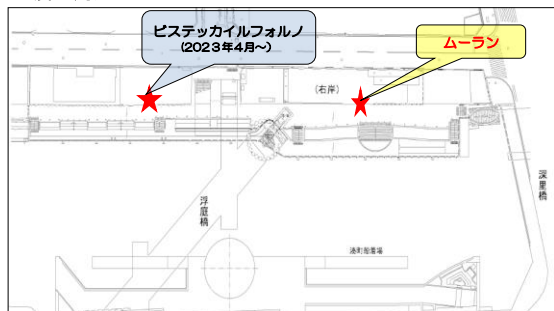
【道頓堀橋～太左衛門橋間】 右岸 16 店舗(新規 6)、左岸 9 店舗(新規 2)

■太左衛門橋～日本橋間



【太左衛門橋～日本橋間】 右岸 5 店舗(新規 0)、左岸 13 店舗(新規 5)

■湊町周辺



【浮庭橋～深里橋間】 右岸 2 店舗(新規 1)

■大黒橋～新戒橋



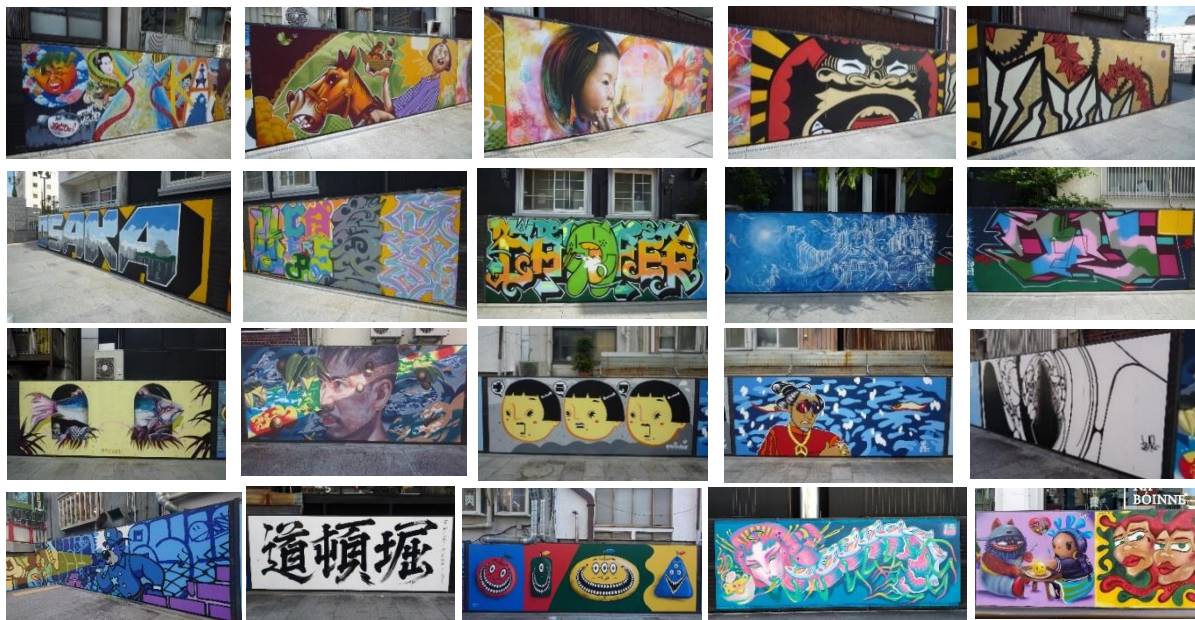
【大黒橋～新戒橋間】 左岸 1 店舗(新規 0)

(6) その他 活性化施策

① ウォールアート(道頓堀アート) 大黒橋～新戎橋 間 2019年7月～

西側エリアの落ち着いた空間に、2019年度から推進しているウォールアートは訪れる方に身近にアートを感じていただける場所になっています。本年度の東西の回遊性向上とエリアの魅力度を向上させています。2024年1月末現在で、23作品を掲出中。

【ウォールアート掲出内容】(2019/7～)



企業協賛広告



<akippa 協賛>



<南海電鉄 協賛>



<OLFA 協賛>



<TUDOR 協賛>

② 草花植替え、造花プランター (地域活性化貢献事業費) 2020年度～

大黒橋付近の両岸にある花壇に「大阪府花き園芸連合会」のご協力で、秋に草花を植替えました。冬場の現在も花を咲かせた状態で、訪れる方にも好評を得ています。排水装置がない場所では、造花プランターを一定期間で入替えています。遊歩道の環境改善の一助と景観演出を兼ねていますが、枯れない、雑草が生えないなど造花ならではの利点を活用しています。



草花の植替えをした花壇(大黒橋～深里橋)



造花プランター(新戎橋～大黒橋)



造花プランター(相合橋～太左衛門橋)

③ イルミネーション（地域活性化貢献事業費） 2023 年11月3日～2024年 3 月10日

本年度も、道頓堀橋から西側エリアでイルミネーションを展開しています。前年度の光の通路を兩岸に拡張し、いっとこミナミ実行委員会との共通イルミネーションも設置。夜間では、ライトアップの明かりによる防犯対策面や光で遊歩道への因効果も期待しています。

「大阪・光の饗宴2023」のエリアプログラム「まいどおおきに！大阪ミナミ光マッセ！」にも参加しています。



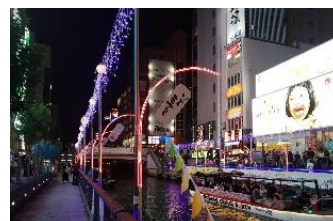
大黒橋付近 左岸



両岸に拡張した光の通路(新戎橋～大黒橋)



いっとこミナミ実行委員会と共通のイルミ
(新戎橋～大黒橋)



参考：いっとこミナミ実行委員のイルミ
(戎橋～道頓堀)

3. 現場管理(警備・清掃・イベント管理)

2023 年3月、戎橋の橋梁下に防犯カメラ 2 台が南警察署により設置されました。地元からの働きかけや電気料のご負担など、多大なご協力によるところです。

最大の目的は、以前から課題となっていた戎橋下で若者が集まり、事件・事故に巻き込まれることを防止することと、犯罪や迷惑行為の発生を抑止し、環境浄化の効果を期待されています。そのため、周辺に防犯カメラ設置を周知すべく、南海電鉄と一本松海運とで掲示物を製作し戎橋下で告知しています。



戎防犯カメラ(戎橋下)



防犯カメラ設置 取材の様子



両岸での「防犯カメラ作動」掲示物(戎橋下)

● 緊急通報 110 番、119 番について

前年度に続き、泥酔者が遊歩道で寝ているケースが目立ち、発見した警備担当者による「110 番通報」の 39%が泥酔者通報で占めています。最近では、性別問わず泥酔者が寝ているため、犯罪に巻き込まれたり、体調状態(意識不明など)によっては生命にもかかわる可能性もあるため、警備担当者には、「救急通報(119 番)」かの初期判断と速やかな一次対処を指示しています。

次いで、コロナ禍後からの反動かもしれないですが、遊歩道上での集団飲食が多くなっていますが、反面、戎橋下に若者が集まったり、スケートボード利用は、警察官による頻繁な巡回や地域の方々のご協力で、本年度下期から徐々に見受けられなくなっています。

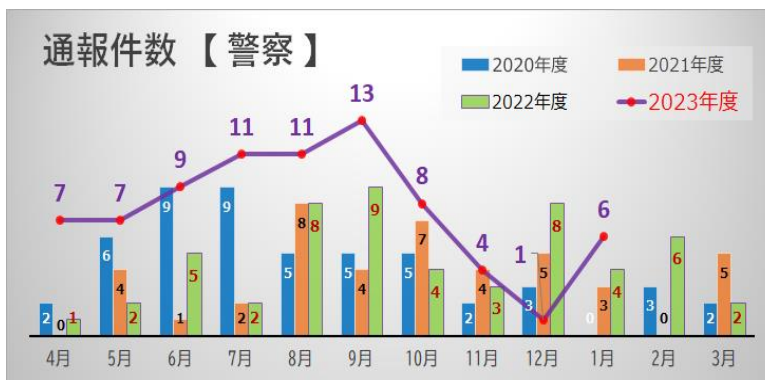


遊歩道で横臥している泥酔者。通報により警察官が臨場し対応。

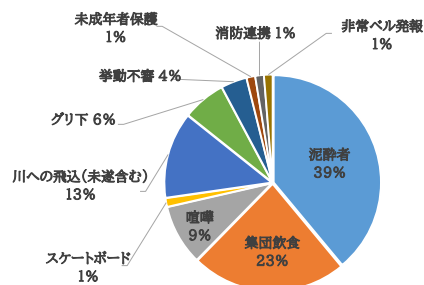


集団飲食の通報により警察官が臨場。

■ 110 番通報 内容：泥酔者、集団占拠、喧嘩、川への飛込など



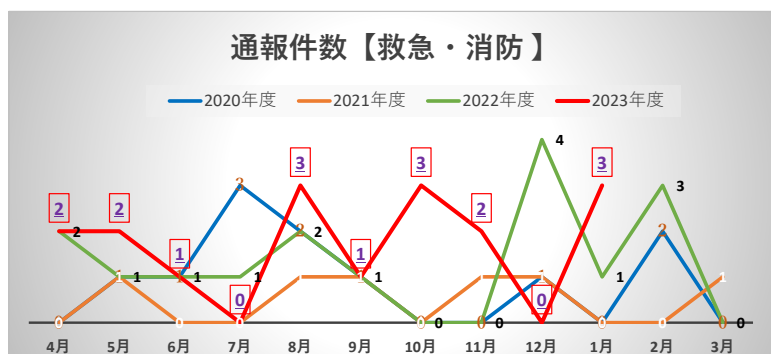
2023年度 警察通報件数 (計77件)



■ 119 番通報 内容：河川からの救助、泥酔者などの救急要請が中心



救急隊員による救護活動



●管理運營業務委託を超える強化内容（2022 年度 下期～）

警備 体制 大阪市からの管理運營業務委託

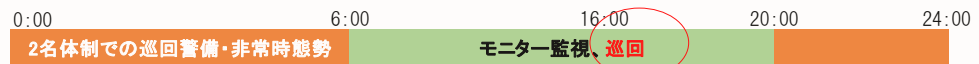
- 20 時～翌 6 時まで警備員 2 名体制での巡回警備
- 上記以外の時間は、防犯カメラのモニター監視と非常時対応



※日中帯は警備員の勤務の指定なし。

〔南海電鉄の 警備体制強化〕

- 日中帯を含めて警備員を 24h 配置し 適時巡回警備と非常時対応



- 1名の配置増員 金曜、休日・祝前日の夕方 16 時～20 時（2022 年度 下期～）



清掃 体制 大阪市からの管理運營業務委託

※2023 年度をベースに同条件で延べ人員を算出

清掃区分	清掃回数	詳細（数値は従事人員）								備考
		日	月	火	水	木	金	土	延べ人員	
ピーク時期（4月～10月）	5 回／週	①	①		①		①	①	160	別途月1回の清掃含む
オフピーク時期（11月～3月）	4 回／週						-		87	
合計人員									247	
特別清掃（機械床洗浄）	4 回／年									事業者 任意設定区域

〔南海電鉄の 清掃強化〕

- 毎日実施し、週 5 日と祝祭日等の翌日には 2 名体制に増員。基準回数の『約 2.6 倍』

清掃区分	清掃回数	詳細（数値は従事人員）								備考
		日	月	火	水	木	金	土	延べ人員	
年間（4月～3月）	7 回／週	②	②	②	①	①	②	②	642	祝祭日およびハロウィン、カウントダウン等の翌日増員
増減									395	約2.6倍
特別清掃（機械床洗浄）	4 回／年									事業者 任意設定区域

● 研修、情報共有等について

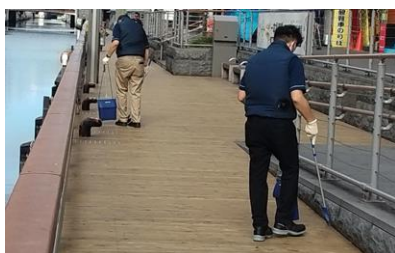
遊歩道での安全・安心に直結する警備担当者や環境美化や不審物の発見などもある清掃担当者は、安全かつ適切に業務を履行すべく、定期的な研修等に参加し資質の向上に研鑽しています。同様に、イベント等での現場管理担当者らも事故防止等の安全遂行と快適な空間創出のため、業務区分に応じた研修等により意識更新を常に図っています。

さらに、異常時情報は警備事務所で一元管理し、迅速な初期対応がとれる体制と、南海電鉄担当者と現場管理の各責任者で構成する定例会議において、諸問題の情報共有とその対策検討など、安全かつ適切な遊歩道管理を日々推進しています。

その他、遊歩道の課題でもあるゴミ問題ですが、収集、処理量が増加しつつあります。除草を含め美化向上と快適空間を目指し、前年度よりさらに強化し毎日清掃を実施し、ハロウィン・年末カウントダウンの翌日等には南海電鉄の担当者も参加して清掃を行っています。



事故防止等の研修(左から警備担当、清掃担当)



清掃担当者のゴミ収集作業



清掃担当者の除草作業 <作業前(左)と後(右)>



< 経過報告 >

戒橋のたもとに深夜でも未成年者が集まるなどが課題となっていましたが、警察の防犯カメラ設置や巡回強化、地域の方々のご尽力で、現在は見かけられなくなりました。

なお、2022年8月から認定NPO法人D×Pが定期的実施していたフリーカフェ形式での対話による課題改善活動は、近隣で若者が集まれる拠点「ユースセンター」を開設され、遊歩道での活動は2023年7月で一旦終了しました。



以前の戒橋下の状態



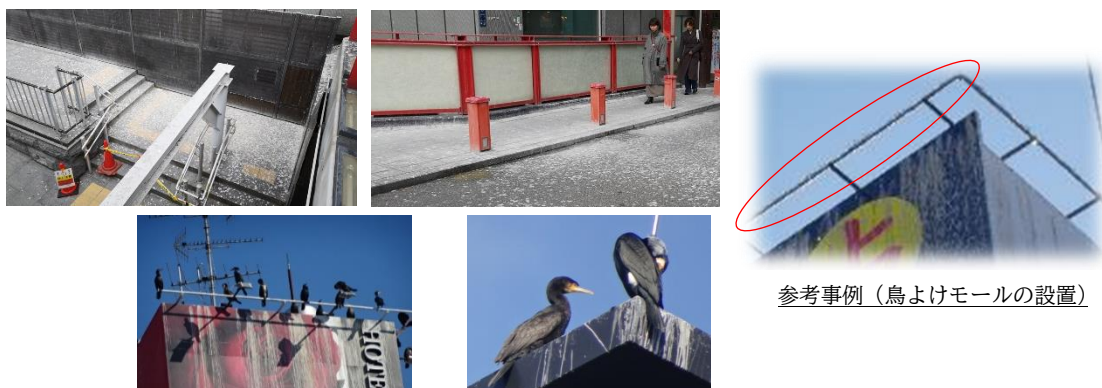
以前の戒橋下の状態



拠点となるユースセンター内
(認定NPO法人D×P ホームページから転載)

<維持管理での課題と対応>

- (1) 2年前にも一時的に糞害が発生していましたが、本年度も約1ヶ月ほど前から、大型で集団行動をする「カワウ」が飛来し、広範囲の遊歩道やその周辺において鳥の糞害が発生しています。以前は西側が中心(湊町エリアから戎橋付近)だったのが、ほぼ全域で糞の被害が出ています。近隣ビルの高所などからも糞をするので、通行時に被害に遭ったり、また糞害場所も広範囲にわたるため、清掃担当の床面洗浄だけでは対処ができず、河川・渡船管理事務所による高圧洗浄機での糞除去と床面等洗浄を行っていますが、すぐに汚れます。抜本的な対策は困難ですが、対応を大阪市と検討中です。参考事例として、あるビルでは鳥よけモールを巻いて対処していました。



参考事例（鳥よけモールの設置）

- (2) 落書き、シール貼り付けの悪戯が、少しずつ増加しています。景観だけでなく、治安・犯行的面にも不安を抱ききっかけになるとも言われたりしていますが、放置すれば中傷的や批判の落書きなどが出てくる可能性もあります。



- (3) 遊歩道に持ち込んだ飲食後のゴミの放置が大半でベンチや階段付近に集中している状況です。残置物があるとカラスやネコなどが周囲にまき散らすこともあるので、ゴミ散乱が酷い場合には夜間や早朝巡回時の警備担当者の助力も得ながら環境美化に努めています。近隣の企業団体等も独自で清掃活動を行っていただいています。



- (4) ハトやネコなどへの餌やりが各所で継続的にあります。餌の容器を残置しているケースや、民地内に無断で置かれることもあり、糞害なども発生しています。

また、立ち小便もあります。人の目が多くなれば行為自体も減少すると考えていますが、夜間には対策も困難となります。

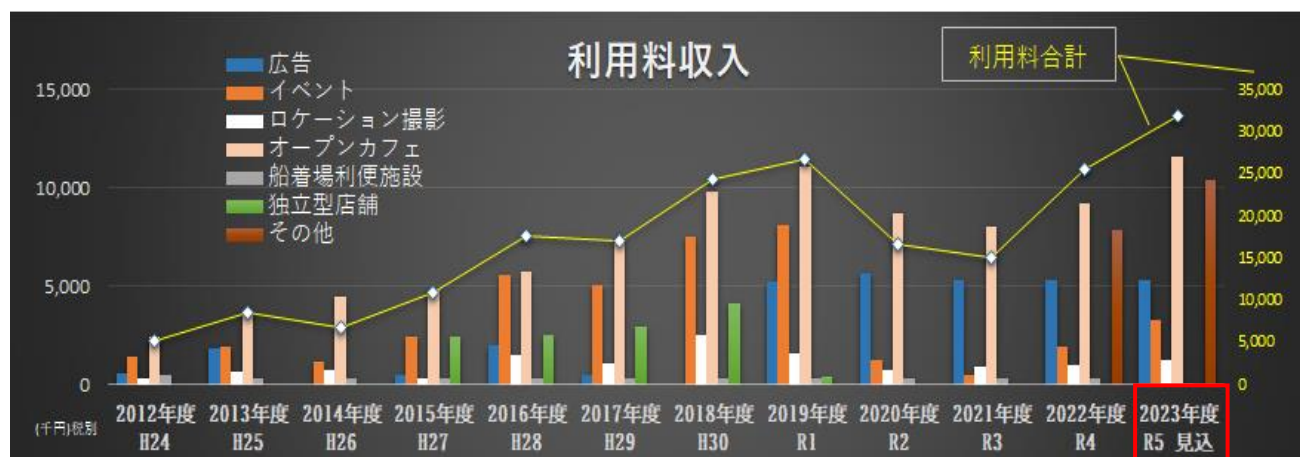


4, 収支（2023年度 実績見込）

なにわ筋線工事支障で、独立型店舗の利用はなく、船着場利便施設については減収となりました。また、イベント開催自粛要請等が解除になり、イベント、ロケーション撮影、オープンカフェでは前年度に比べて増収となり、広告収入は全体的に安定収入として下支えしました。

費用につきましては、警備料、清掃料の維持管理費用を前年度下期から継続した強化にともない費用増となり、委託料などの費用、花壇植栽や冬季活性化策としてイルミネーション費用を抛出しました。

収支としましては、前年度に続き黒字見込となっています。（別表参照）



＜図5 利用料収入推移 2012年度～2023年度見込＞

＜2023年度 収支見込の概要＞

収 入： ○イベント、ロケーション撮影件数増。オープンカフェ契約店舗増。

○船着場利便施設 利用料減。

費 用： ○警備料・清掃料： 体制強化による増額。

○委託料： イベント等現場立会管理の増による増額。

★地域活性化貢献事業費

●抛見込額 約 1,318 千円 花壇等植栽費

●抛見込額 約 3,100 千円 イルミネーション

とんぼりリバーウォーク管理運営業務に関する 2023年度 収支実績見込

【実績(見込)比】

(税別 千円)

	2019年度 [実績]	2020年度 [実績]	2021年度 [実績]	2022年度 [実績]	2023年度 (a) [上期実績・下期見込]	前年度比		補足説目
						増減額 (b)	増減率 (b/a)	
(A) 業務受託料計	31,310	31,310	31,310	31,310	31,310	0	0.0%	
広告	5,240	5,640	5,280	5,280	5,280	0	0.0%	
イベント	8,121	1,280	475	1,897	3,245	1,348	71.1%	
ロケーション撮影	1,573	724	934	1,019	1,283	264	25.9%	※利用増
オープンカフェ	11,116	8,674	8,039	9,202	11,598	2,396	26.0%	
船着場利便施設	310	310	310	310	26	▲ 284	▲91.6%	※2023/5月～ 湊町船着き場移設による
独立型店舗	397	0	0	0	0	0	#DIV/0!	
その他				7,821	10,428	2,607	33.3%	
(B) 利用料収入計	26,757	16,628	15,038	25,529	31,860	6,331	24.8%	
① 収入合計 (A+B)	58,067	47,938	46,348	56,839	63,170	6,331	11.1%	
河川占用料金	545	536	561	536	536	0	0.0%	
警備料	16,158	17,848	17,848	19,094	20,600	1,506	7.9%	※金土曜・祝前日 16:00～20:00 人員1名追加 2022年下期～
清掃料	2,869	3,224	3,224	3,824	6,000	2,176	56.9%	※休業日撤廃と人員増(週5+1名追加) 2022年下期～
諸経費等	30,507	29,405	23,536	24,187	25,501	1,314	5.4%	
(内) 人件費(付帯含む)	23,494	22,931	18,614	18,455	19,287	832	4.5%	※2021年(第2Q～) 組織改正により人員減 3名→2名
備用品費	42	0	0	0	4	4	#DIV/0!	
委託料	5,742	5,742	4,140	5,271	5,742	471	8.9%	※イベント管理：契約内容見直
広告宣伝費	392	360	360	360	360	0	0.0%	
通信運搬費	96	122	110	59	71	12	20.3%	
損害保険料	121	114	71	28	28	0	0.0%	
雑費	164	1	5	0	0	0	#DIV/0!	
その他	88	75	203	14	9	▲ 5	▲35.7%	※2021年度 初期イルミ等 除却費
諸税・減価償却	368	60	33	0	0	0	#DIV/0!	
② 費用合計	50,079	51,012	45,168	47,641	52,637	4,996	10.5%	
③ 地域活性化貢献費	6,252	3,933	1,000	3,968	4,418	450	11.3%	
営業損益 (①-②-③)	1,736	▲ 7,007	180	5,230	6,115	885	16.9%	

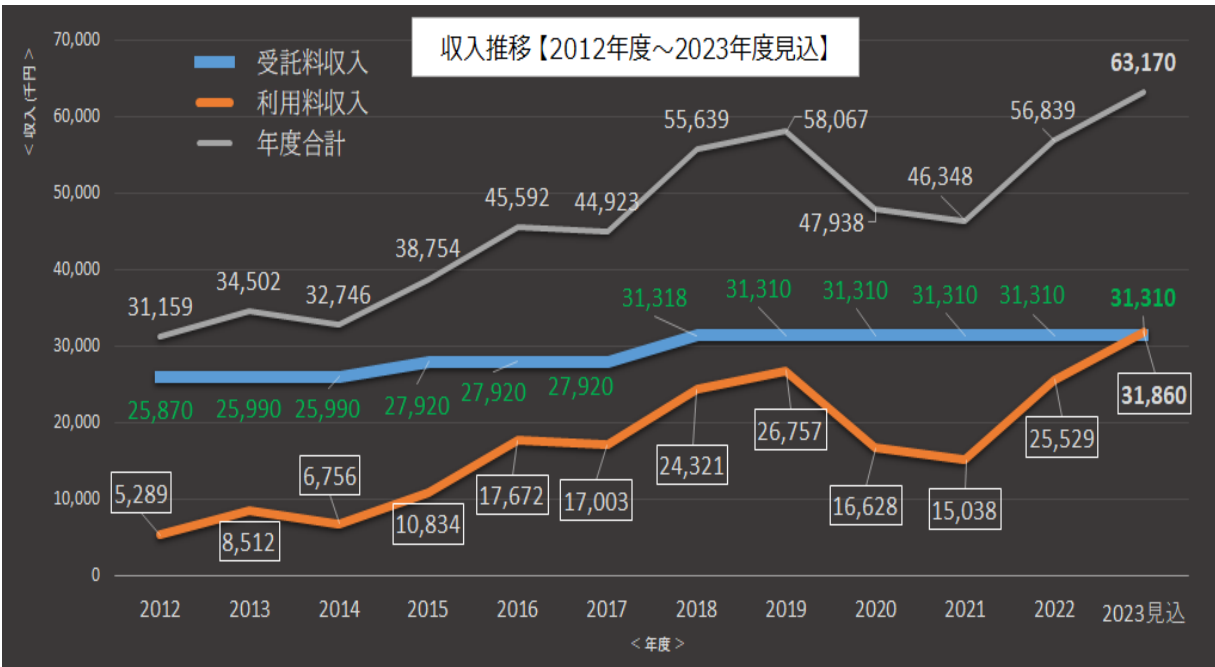
【地域活性化貢献事業費】(南海電鉄が地域活性化への貢献事業として支出した費用)

年度	年度実績 (税別千円)	
2012年度(H24)	10,891	上期：とんブラ2012 <4,422千円>、千日大法会 <1,133千円> 下期：イルミ <2,910千円>、とんぼり乾杯バルフェスタ <2,425千円>
2013年度(H25)	4,215	上期：とんブラ2013 <2,630千円> 下期：イルミ <1,585千円>
2014年度(H26)	3,511	上期：とんブラ2014 <1,425千円>、絵画展示 <174千円>、植栽イベント <548千円> 下期：イルミ <1,102千円>、植栽イベント <262千円>
2015年度(H27)	4,093	上期：プランター植栽 <517千円>、絵画展 <180千円>、とんブラ2015 <1,850千円> 下期：イルミ <1,200千円>、植栽イベント <346千円>
2016年度(H28)	8,762	上期：植栽関係 <465千円>、絵画展 <323千円>、とんブラ2016 <2,000千円> 下期：イルミ <2,000千円>、春節イベント<3,675千円>、植栽関係 <300千円>
2017年度(H29)	6,931	上期：植栽関係<510千円>、とんブラ<2,002千円>、南海京阪コラボ<1,500千円>、絵画展<155千円> 下期：イルミ<2,000千円>、植栽関係<194千円>、万博誘致広告製作等 <570千円>
2018年度(H30)	4,358	上期：植栽関係 <550千円>、とんブラ <1,080千円>、絵画展 <138千円> 下期：イルミ< 2,200千円>、植栽関係 <261千円>、万博誘致広告撤去 <130千円>
2019年度 (R1)	6,252	上期：植栽関係 <883千円>、とんブラ <69千円>、絵画展 <184千円> 下期：イルミ< 4,800千円>、植栽関係 <316千円>
2020年度 (R2)	3,933	上期：植栽関係 <807千円> 下期：イルミ< 2,390千円>、植栽関係 <736千円>
2021年度 (R3)	1,000	下期：イルミ< 1,000千円>
2022年度 (R4)	3,968	上期：植栽関係 <772千円> 下期：イルミ <3,100千円>、掲示物協賛 <96千円>
2023年度 (R5)見込	4,418	上期：植栽関係 <678千円> 下期：イルミ <3,100千円>、植栽関係 <640千円>

【とんぼり事業 損益】

(税別千円)

	単年度 営業損益	各期での 累計営業損益	累計営業損益
2012年度(H24)	▲ 11,242	▲ 11,242	
2013年度(H25)	▲ 3,324	▲ 14,566	
2014年度(H26)	▲ 2,286	▲ 16,852	
第1期 計	▲ 16,852		▲ 16,852
2015年度(H27)	▲ 966	▲ 966	
2016年度(H28)	678	▲ 288	
2017年度(H29)	2,501	2,213	
2018年度(H30)	2,370	4,583	
第2期 計	4,583		▲ 12,269
2019年度 (R1)	1,736	1,736	
2020年度 (R2)	▲ 7,007	▲ 5,271	
2021年度 (R3)	180	▲ 5,091	
2022年度 (R4)	5,230	139	
2023年度 (R5) 見込	6,115	6,254	
第3期 計	6,254		▲ 6,015



5, これからの取り組み

とんぼりリバーウォーク周辺では、異なる魅力的な商店街をはじめとした様々なコンテンツが溢れています。2025 年の万博開催で、商店街や地域などが集客施策により、さらなる賑わいをもたらされると推察できます。

それらも考慮し、まず 2024 年度には万博の機運醸成への取り組みとして、ウォールアートを活用したアート展示や広告枠の意匠募集時を活用して万博ロゴマークなどの掲出を検討しています。あわせて、遊歩道に通行者が増えることに対しては、花壇など草花植替え頻度・プランター造花の設置を増強したりなど、環境美化を主軸に安全・安心な遊歩道としての魅力を出していきたいと考えています。

また、なんば広場、御堂筋の拡幅された歩道などとのイベント共催で、ミナミエリアの周遊性向上に繋がる取り組みにも関わっていきたいと考えています。



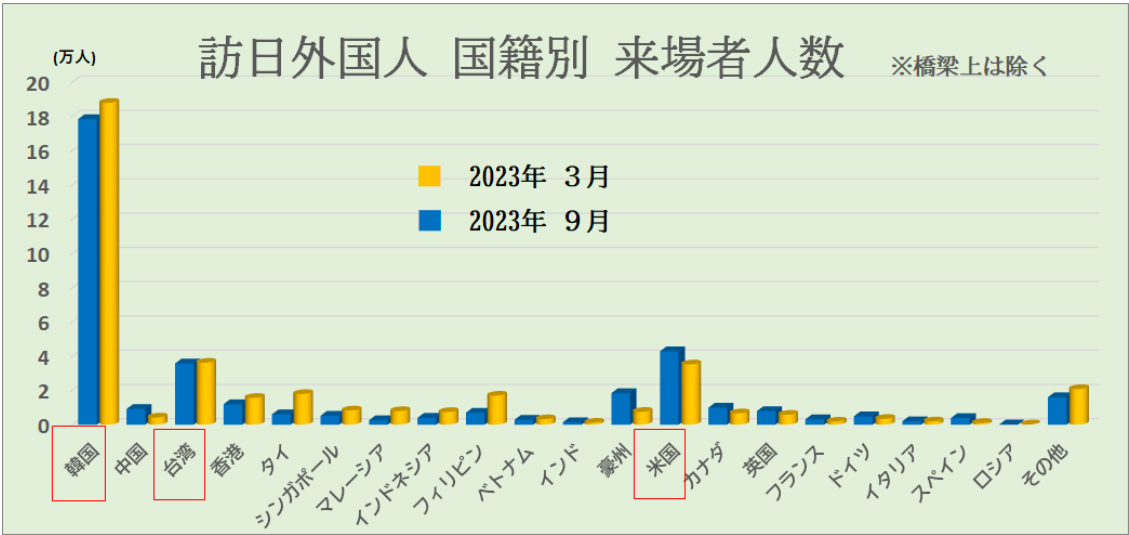
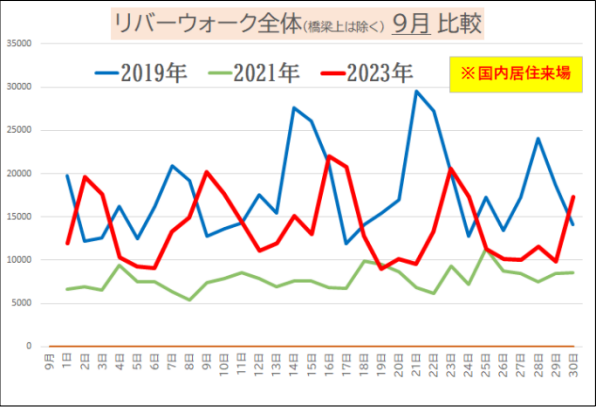
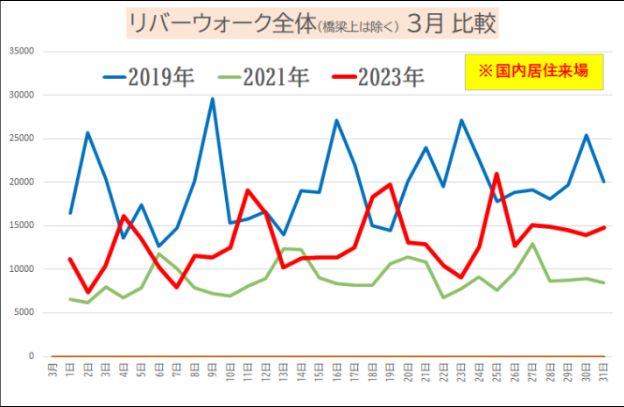
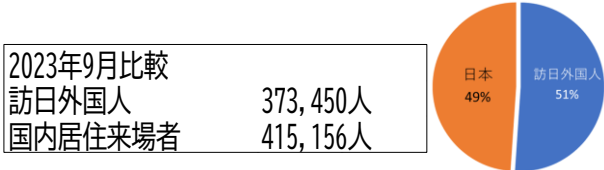
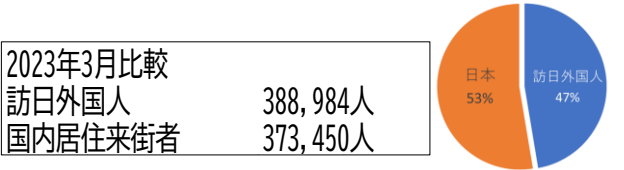
新ロングボード広告枠 戎橋～道頓堀橋



日本橋広告枠 日本橋～相合橋

来場者数データ

国内居住者数 KDDI 携帯キャリアを用いてGPS位置情報等を基に拡大推計処理されたデータ。※20 歳以上の同意を得た方で、30 分以上の滞在者。
訪日外国人数 日本政府観光局が発表している訪日外国人人数と NAVITIME JAPAN の保持するデータを基に拡大推計処理されたデータ。



【参考】国内居住者 来場者の居住者エリア分布 2023 年 3 月 戎橋・道頓堀橋 周辺

